



香川県立三木高校へRESAS出前授業に参上！



内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部発行

2019年12月17日、香川県立三木高等学校総合学科流通系列3年生の「総合的な学習の時間」において、当研究所主任研究員の後藤が授業を行いました。

授業に参加したのは、三木町小菟地区の地域おこし活動を長年続けてきた生徒を中心とした12名。テキストとして、高校生以下向けのまんがブックレット「そうだったのか！ RESASでわかる私たちの地域」を使い、RESASを利用して地域を分析する手法についてお話ししました。

生徒の皆さんは各自パソコンでRESASを操作して、小菟地区の将来人口メッシュや外国人メッシュなどのデータ収集を実習。2045年の地区人口が39人にまで減少し高齢者しかいなくなるというデータを目にし、改めて驚いた様子でした。

